



# 国際ロータリー第2790地区

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



## 千葉南ロータリークラブ会報

(創立)1964年3月2日

(例会日)毎・金曜日12時30分

(例会場)オークラ千葉ホテル

(会長)齋藤 昌雄

(幹事)植松 省自

(会報委員長) 永安 重治

(事務局) 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

### 第2450回

平成26年5月23日(金) 点鐘12:30 <晴れ>

- ◇ロータリーソング『手に手つないで』
- ◇四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

#### ◆お客様紹介

- ・本日の卓話者 / 俳優 山田 純大様
- ・千葉西RC / 宮間 大輔様

#### ◆会長挨拶及び報告 齋藤 昌雄会長

今日の卓話は、全く知らない内容ですで大変楽しみにしております。後程宜しくお願致します。

私どもの業界の話ですが、以前、学校給食に出したメグミルクの異常で2,000人程に影響を及ぼしたと報道されました。原因についてまだ明らかにされていないのです。牛乳は、牧場で搾った後、中継場のような所があって、そこで検査をして、そこから乳業メーカーへ行き、そこでまた同じように検査をして合格したものを製品にするというシステムです。いろいろ検査をするのですが、その中で風味というものは機械では測れません。人がそれぞれ感じるものであるということで、各メーカーから5人位のプロが源乳の段階で風味のチェックをして、1人でもおかしいと言え、それは使えなくなります。今度は、問題なく出来上がった段階で別の5人がチェックをして出荷することになります。問題のあった牛乳は、そういう段階を経たにも関わらず、不備が出てしまいました。餌の乾牧草等や環境で牛乳に影響することもあり、中々難しい問題です。

#### ◆委員会報告

親睦活動委員会より(石井 慎一副委員長)

「CSRゴルフ会」開催のご案内

日時⇒ 平成26年6月25日(水) 集合08:30

場所⇒ セブンハンドレッドクラブ

会費⇒ 3,000円 **是非ご参加下さい!!**

#### ◆ニコニコボックス報告

<齋藤 昌雄会長・植松 省自幹事>

山田純大様、本日の卓話、宜しくお願申し上げます。ご著作、読まさせていただきます。

<向後 保雄会員>

10月5日に私の講演会日帰り旅行で、6月に世界遺産となる富岡製糸場に行くことになりました。ロータリーの皆様にも是非ご参加いただければ幸いです。

本日のニコニコボックス	3,000 円	累計	656,000 円
金の箱	200 円	累計	27,304 円

#### ◆出席報告 (会員数51名)

出席者数34	欠席者数17	ピンター 2	修正出席率 76.47%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	6/17・6/24	センシティブタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	6/10・6/24	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	6/25	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	6/4・6/11	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	6/26	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	6/26	京成ホテルミラマーレ

### <本日の卓話>

演 題⇒ 『命のビザを繋いだ男』  
卓話者⇒ 俳優 山田 純大様



昨年4月25日NHK出版より、「命のビザを繋いだ男」を出版させていただきました。この本は小辻節三という男の人生を追ったものです。皆さん、杉原千勲さんをご存知かと思ひます。戦前に6千人のユダヤ人に「命のビザ」を発行し、ナチスから日本に逃がしたという有名な話

です。私はこの話を聞いて、学生時代から疑問に思っていたことがありました。杉原さんが送り手であれば、日本での受け手は誰であったのか、ということです。この時に発行されたビザは長いもので10日、中には3日というものがありました。このビザはあくまで日本を通過して良いというもので、滞在しても良いというものではありませんでした。ユダヤ人たちは、その短い時間に次の国を見つけて出国しなければならぬのですが、実際にはそんな期間では不可能なことだったのです。そこでユダヤ人のためにビザを延長し、安全に次の国まで送り出した男が小辻なのです。

小辻の情報は図書館やインターネット上にもほとんどなく、調査は大変苦労しました。その中で1964年にアメリカで英語の自伝を残している事がわかり、取り寄せることが出来ました。自伝にはユダヤ難民がどのようになったかが克明に記載されているだけではなく、当時の日本の軍部、政治家等の考えや思惑も記載されていました。しかし、この本は彼が生まれてから60歳までのものであって、その後の彼の人生についてはわかりませんでした。さらに調査を進めていくと、ユダヤ人のマーヴィン・トケイヤー氏の本の中に3行ほど小辻に関する記述があり、そこには生前をよく知っていること、彼の死後、遺体を鎌倉からエルサレムまで運んだのが自分であるという記載があったのです。私は、トケイヤー氏となんとかコンタクトを取りたいと思っていましたが、偶然にも大学時代の友人の父親がトケイヤー氏の友人だったので。早速ニューヨークまで、会いに行くことになりました。彼は、小辻のことを一番知っているとのことでいろいろな話をしてくれました。特に印象に残った話は「民間人なのに一銭も取らずに命がけでユダヤ人を助けたんだ。そして、自慢しないで死んでいった。だからユダヤ人の中で小辻はスーパーヒーローなんだ。」私は、鳥肌が立ちました。彼から、本にしないかとも言われましたが、その時は俳優だからと断りました。それでも、この先調査を続けるのであればと、鎌倉に住んでいるメリーさんとジュリーさんという娘さんたちの連絡先を教えてくださいました。早速ホテルから連絡を取ったのですが、「そっとしておいてほしい」と電話を切られてしまいました。

帰国後、悩みを知り合いの弁護士に話したところ、2ヵ月かけて説得していただき、やっと会うことが出来ました。しかし、実際にお会いすると何を話して良いかわからなくなってしまいました。それは、小辻さん一家が当時のドイツと日本の意に反してユダヤ人を救ったので、学校で非国民としていじめられたり家を盗聴されるなど、とにかく監視し続けられていたのです。そのため、お二人は今でも小さなアパートで、二人だけで暮らしており、住所も非公認として私書箱でやり取りをしているのです。何を話して良いかわからないなか、私は必死に自伝の中で感動した箇所について話をしました。「義を見てなさざるは勇なきなり」という意識は素晴らしいなどです。話していると、少しずつ話をしてくれるようになりました。娘さんたちは、帰り際に小辻が生前に話していたことを私に語ってくれました。「百年以内に誰か自分のことをわかってくれる人が現れるであろう」ということです。これを聞いて自分はその役割を果たさないといけない男だと勝手に思ってしまう、英語の自伝を翻訳して出版したいと思ったのです。必死に翻訳して自分で原稿に穴をあけ、糸で

結び娘さんたちに読んでもらったところ大変喜んでくれました。実は、娘さんたちは英語ができなくて、自分の父親が何を書いたか知らなかったのです。今度は翻訳したものをいくつかの出版社に持ち込んで話をしたのですが、どこでも「こんな本売れないよ」と出版にはなりません。悩んでいるとドラマでお世話になった脚本家の方が NHK 出版に持って行ってもらえることになりました。結局、自伝の翻訳としては出版できなかったのですが、私が取材した内容や小辻像について本にしたらどうかということになり、多くの方の協力で今回の出版となったのです。

小辻はワンマン、勉強好き、無口で温かく正義感のある人物だとわかってきました。1930年代中ごろ、満鉄の副総裁である松岡洋介の右腕として赴任しています。当時上海には2万人のユダヤ人が住んでおり、軍部との間に様々なトラブルが起こることも多くその解決に能力をかわれたのです。この時、ユダヤ人と日本人の間で第3回極東会議がありました。その際に小辻は、1000人の聴衆の前でヘブライ語によるスピーチをしています。その内容は古典的、詩的であったためにユダヤ人でも分かりにくいスピーチでしたが、極東にこのようなスピーチができる人がいたということで大いに感動を誘いました。このニュースは世界中のユダヤ社会に伝わり、小辻の名前はユダヤ人の中で広まっています。1年後松岡の帰国とともに小辻も帰国するのですが、そのころから、ユダヤ難民が本格的に日本に流入してきます。彼らの頭の中には、ヘブライ語を使える日本人としてユダヤ世界で有名になっていた小辻の名前が浮かび、助けてほしいと手紙を書くこととなります。小辻も様々な方法を彼らを助けていくことになるのですが、その内容は本にありますので是非読んでください。

小辻のことで、私がとても大事にしたいところが自伝の中にあります。すべてのユダヤ人を送り出した後に彼が言ったことです。

「苦境に立たされているユダヤ難民に対する日本の善意は自慢に値するものではない。しかし、ナチスから圧力をかけられていた当時の日本であったにもかかわらず、ユダヤ難民が無事に日本を通過できたことは喜ばしいことであつた」

この話を、お世話になっている小田全宏先生に話したところ映画化の話になりました。この映画を通して、世界に向けてより多くの人に小辻節三を知ってもらいたいと思っています。

(文責 小林 透会員)



#### 第2451回例会

日時⇒ 平成26年5月30日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『千葉ポートタワー』

卓話者⇒ 千葉ポートタワー 館長 松村 好兼様

#### 第2452回例会

日時⇒ 平成26年6月6日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 会員ミニ卓話